

令和7年度 第4回理事会

日時：令和7年10月28日（火）：19：00～

場所：Zoom（オンライン）

参加者：理事（磯野、高村、小林、有泉、井村、大西、平賀、鮎川、渡邊、古屋、菊池、鈴木、上田、山下）
部長（原、丸茂、小林）

欠席者：

慶事： 1件 弔事： 0件

施設数：187施設

会員数：934人 【施設会員886人/在宅会員48人】

休会員数：215人（10月26日現在23.0%）

【審議事項】

1. 中西部支部主催症例検討会の開催延期と別日日程について：士会支部局
2. 2025年度第4回学術研修会事業報告について：学術研修部
3. 令和7年度 生活期リハビリテーション研修会について：訪問理学療法委員会
4. 第44回関東甲信越ブロック理学療法士学会 懇親会費用について
中間監査資料について（別紙）：事務管理局

【報告事項】

1. 登録理学療法士 前期研修(A)：学術局
2. 令和7年度第1回福祉保険局こども福祉部研修会実施報告：こども福祉部
3. 第16回訪問リハ・地域リーダー会議への出席報告：訪問理学療法委員会
4. 「令和7年度 健康安全運動講座」について：委託事業部
5. 令和7年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 第2回災害対策支援委員会報告
令和7年度第3回（32回）山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会報告
：災害対策支援委員会
6. 令和7年度山梨県がんリハビリテーション推進委員会
令和7年度山梨県理学療法士会がんリハビリテーション推進委員会 会議報告：がんリハ推進委員会
7. 第44回関ブロ学会 進捗報告

【事務管理局より】

- ・交流会の参加について：125名の参
- ・関ブロの懇親会について：ベルクラシック甲府で18:30開始。参加者60名、現在席次表を作成中。当日数名には受付や案内のお手伝いをお願いしたいです。
- ・協会との意見交換会について：斉藤協会長との士会組織運営についての意見交換会の開催日を12月9日（火曜日）、会場は事務所。
- ・事務所について：中間監査や意見交換会もあり、事務所に荷物を置かれている部署については、整理整頓をお願いいたします。

【 審 議 】

提出者	平賀 篤	部局名	士会支部局
議 題	中西部支部主催症例検討会の開催延期と別日日程について		
内 容 および 提出趣旨	2025 年 12 月 3 日（水）開催予定の中西部支部主催症例検討会について、発表登録締切：を 2025 年 10 月 14 日としておりましたが応募者がいなかったため延期して以下日程を検討しております。 <中西部支部> 第 2 回：2026 年 3 月 4 日（水）19 時～20 時（発表登録締切：2026 年 1 月 13 日） 提出資料 無 別紙 1 枚 資料番号等		
提出者の意見	1 日最大 2 演題までとし、演題応募がない場合は非開催とする予定です。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
審議結果	審議（ 終了 ・ 継続 ・ 保留 ・ 付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ）		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間 平成 年 月 日 頃 次回再検討予定 第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議		
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 審 議 】

案件番号 2022- -

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2025 年度第 4 回学術研修会事業報告について		

内 容 および 提出趣旨	第 4 回学術研修会（内部障害研究会共同開催） 日程：2026 年 1 月 11 日（日） 10 時～16 時（休憩 1 時間を含む） 会場：帝京福祉専門学校（対面開催） 講師：玉木彰先生（兵庫医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 教授） テーマ：呼吸理学療法の最新トピックス カリキュラムコード：区分 8-100 呼吸理学療法 研修会参加人数：40 名程度 受講費用：県内会員 1000 円、県外 2000 円、非会員 5000 円、学生無料 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	本学術研修会是对面形式にて開催する。 講師には、兵庫医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 教授 玉木 彰 先生を 招聘し、「呼吸理学療法の最新トピックス」をテーマにご講義をいただく。 玉木先生は、近年注目されている「呼吸サルコペニア」の概念を提唱し、さらに骨格筋 量・筋質が呼吸・運動耐容能・予後に与える影響について精力的に研究を行っている。呼 吸・筋機能・生活活動・予後を統合的に捉えた理学療法の実践に取り組み、これに関連する 多数の論文および著書を執筆するなど、呼吸理学療法分野を牽引している研究者である。 本研修会では、呼吸理学療法の最新動向を理解するとともに、呼吸筋・骨格筋・身体活動 量・予後といった視点から、理学療法としての新たなアプローチについてご教授いただく。 また、対面形式の利点を活かし、実技指導を中心とした構成とすることで、参加者が日々 の臨床業務に直結する技術と知見を得られる研修会となることを期待する。 なお、参加費および運営方法については、開催規定に準じて実施する。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
審議結果	審議（ 終了 ・ 継続 ・ 保留 ・ 付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ）		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間 平成 年 月 日 頃 次回再検討予定 第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議		
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 審 議 】

案件番号 2022- -

提出者	竹中 悠	部局名	訪問理学療法委員会
-----	------	-----	-----------

議 題	令和 7 年度 生活期リハビリテーション研修会について (山梨県リハビリテーション専門職団体協議会)		
内 容 および 提出趣旨	研修会名：令和 7 年度 生活期リハビリテーション研修会 日時：令和 7 年 12 月 20 日（土）13：30～17：30（13：00 受付） 場所：勤医協駅前ビル 5 階大会議室（山梨県甲府市丸の内 2-9-28） 対象：山梨県理学療法士会会員・山梨県作業療法士会会員・山梨県言語聴覚士会会員 定員：50 名（先着順） 参加費：500 円（資料代） 研修内容： ①フィジカルアセスメント 講師 三輪 道然 氏（甲斐リハビリテーションクリニック 理事長・院長） ②グループワーク 内容 多職種連携 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	リハビリテーション専門職の研鑽を図るとともに、在宅でのリハビリテーションにおけるフィジカルアセスメントをテーマとした研修会を企画致しました。ご多忙とは存じますが、ぜひ多くの方にご参加いただきますよう、本研修会の周知をお願い致します。 生涯学習ポイント申請については、「カリキュラムコード 区分 14：169 訪問理学療法」、登録理学療法士更新 4 ポイント、認定・専門理学療法士更新 4 点を予定しています。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
審議結果	審議（ 終了・ 継続 ・ 保留 ・ 付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ）		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	平成 年 月 日 頃	
公開度	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）	B（ 会 員 ）	C（ 一 般 ）

【 審 議 】

案件番号 2025-10-1

提出者	山下浩樹	部局名	事務管理局
議 題	第 44 回関東甲信越ブロック理学療法士学会 懇親会費用について		

内 容 および 提出趣旨	毎年、関ブロ学会開催される際、開催県（都）が主催で、関ブロ協議会所属の士会の理事を中心に懇親会が開催されている。今年も、山梨県理学療法士会主催にて、懇親会をベルクラシック甲府で 18 時 30 分から開催予定。 山梨県理学療法士会において、理事は参加をしていただくこととなっており、参加費一人 8,000 円を士会から支出しても良いかお伺いします。 また、当初、参加費が 8,000 円をお願いしており、各県士会に案内を出しておりましたが、参加人数が 60 人と大幅に増えたこと交流会を別会場で行うこととなったことにより、8,500 円での開催依頼が来ております（現在、8,000 円での開催を交渉中）。8,500 円での開催となった場合、士会からの補填をしていただきたくお伺いいたします。なお、支出については、総務部の予算の交流会費 100,000 円のうち、交流会での支出が 50,000 円程度の予定のため、その余りで支出させていただけないかお伺いします。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	関ブロ学会開催時の交流会は、主催県の理事が他士会の理事等をおもてなしする形での開催となり、士会業務の位置づけとも考えられます。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
審議結果	審議（ 終了 ・ 継続 ・ 保留 ・ 付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ）		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間 平成 年 月 日 頃 次回再検討予定 第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議		
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 報告 】 案件番号 -

提出者	鮎川将之	部局名	学術局
議 題	登録理学療法士 前期研修(A)		

内 容 および 提出趣 旨	研修会	テーマ	場 所	日 時	講師	参加人 数
	前期研修	A-1. 職業人と倫理	WEB 開催	9 月 19 日	有泉 静佳 (あけぼの医療福祉センター)	14 名
	前期研修	A-2. 協会組織	WEB 開催	9 月 2 日	高村 浩司 (健康科学大学)	10 名
	前期研修	A-3. 人間関係および接遇	WEB 開催	9 月 25 日	鮎川 将之 (山梨リハビリテーション病院)	14 名
	前期研修	A-4. 理学療法における関連法規	WEB 開催	7 月 10 日	磯野 賢 (甲州リハビリテーション病院)	13 名
	前期研修	A-5. 理学療法における情報管理	WEB 開催	8 月 5 日	小林 司 (石和温泉病院)	13 名
	前期研修	A-6. 生涯学習について	WEB 開催	7 月 26 日	笠井 雄太 (山梨リハビリテーション病院)	12 名
	提出資料 ☐ 無 ・ 有 別紙 1 資料番号等					
提出者の 意見	・ 来年は加えて、生涯学習制度の説明会を行っていきたい 提出資料 ☐ 無 ・ 有 資料番号等					
主な意 見内容 など						
結果						
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)					

【 報 告 】

案件番号 2025- -

提出者	高村 裕子	部局名	こども福祉部
議 題	令和 7 年度第 1 回福祉保険局こども福祉部研修会実施報告		
内 容 および 提出趣旨	・ 日 時：令和 7 年 8 月 27 日（水）19:00～21:00 WEB 開催 ・ テーマ：学校現場で起きている現状～理学療法士に求められるものと今後の期待～ ・ 講 師：手塚 圭祐 先生（弁護士、永淵総合法律事務所） ・ 参加者： 67 名（事前申込 69 名：県内 23 名、県外 46 名）※当日の内訳は不明 ・ 参加費：＊協会クレジットカード支払い（会員）：64 名→64,000 円 ＊現金振り込み（会員外）：2 名→4,000 円 ＊当日現金支払い（会員）：1 名→1,000 円 提出資料 ☐ 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	本研修会では、学校保健を中心に学校現場での事故や怪我などの発生状況から始まり、時代の流れからか子供たちの個性への配慮が必要であることを示唆するものでした。 教員への負担軽減及び体育や学校生活での安全性を確保するために理学療法士が学校現場に貢献できるという視点を提示していただいた。 また、東京都士会のスポーツ局こどもの健康安全部の斎藤副部長様より、都士会での活動状況を知る機会となりました。東京都では、一部の学校と 1 回/年は必ず参画しているとのことでした。全国的に認定スクールトレーナーの育成も始まっており、山梨県でも組織立った活動を視野に入れ、県内での取り組みを考えていく良い機会となりました。 提出資料 ☐ 無 別紙 枚 資料番号等		

主な意見内容 など	研修会開催にあたって、3 件の問い合わせがありました。 情報共有のため、併せて報告します。 ①研修会開始直前に、ZOOM の招待状が届いていないとの問い合わせの TEL があった。 2 日前にメールを送ったことを伝え、その場でメールを確認してもらい ZOOM の招待状のメールが届いていることを確認してもらった。 問い合わせた方曰く「申し込んだときに、申し込みを受け付けましたというメッセージは届いたが、私の理解ではその時に ZOOM のアドレスも送るとものではないかと思っている」とのことだった。 ②研修会終了後に、QR コードが読みとれないという参加者がいた。 他の研修会でもいつもスマホで参加しており、QR コードをスクショしてから読み込むようにしているのだが、今回は何をしても読み込めないとのことだった。 履修登録フォーマット（エクセル）での申請を行うことで解決した。 ③研修会終了後、次のようなメールが届いた。 「入室時に QR コードが提示されていたのでしょうか。5 分前にはパソコン前にいましたが、入室時の許可は講義が終わってからの QR コードになっており、退出時の QR コードを読み取れない状況です。どのようにしたらよろしいでしょうか。」 という内容であった。 当研修会では入退出の QR コードは設定していないことを伝え、ポイント申請の QR コードが読み取れないのであるならば、履修登録フォーマットにて申請をするので士会 HP から登録してほしいと返信し対応した。 3 名ともに協会の研修会情報から申し込みをしており、研修会について詳細な情報が記載された士会の HP は閲覧していない可能性があるため、協会を通して申し込む場合、必ず士会 HP を閲覧して詳細を確認していただくよう、メッセージを表記したほうが良いと思われました。 ②の方について、なぜ QR コードが読み取れなかったのかは不明です。
結果	
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）

【 報 告 】

案件番号

提出者	竹中 悠	部局名	訪問理学療法委員会
議 題	第 16 回訪問リハ・地域リーダー会議への出席報告 (リハビリテーション専門職団体協議会主催)		
内 容 および 提出趣旨	日時：令和7年10月18日（土） 9：30～12：00 方法：Web開催（ZOOMミーティング使用） 内容： ・講演 「2040年を見据えた訪問リハと在宅歯科の新しい連携のかたち」 講師 一般社団法人 日本老年歯科医学会 猪原 健 氏 ・グループワーク 「各都道府県における訪問リハビリテーション実務者研修会の取組状況や課題の共有」 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	講演では、歯科医師と言語聴覚士を資格に持つ立場から研究や調査の結果をわかりやすく説明して下さりました。その中でも、病院に入院している患者様が、退院が円滑に進まない理由は、多くの場合は医療の問題ではなく、家族の介護力、経済的な問題が原因だと話されていました。また、退院できなかった患者様の特性は、嚥下障害と認知機能障害があり、改めてこの障害の理解を深めないといけないと感じました。日本在宅医療連合学会のホームページ上にコメディカル向けの人材育成講座があり、無料で視聴可能なのでは非、理解を深めて欲しいとの事でした。 グループワーク（山形県・山口県・山梨県のグループ）では、実務者研修会の取組状況について話し合いました。三県とも対面開催で実施しており、参加者にとって充実した研修内容になっている様でした。しかし、参加者が20～30名と伸び悩んでいる課題は共通していました。この課題に対しては、日頃の業務の多忙な事や開催時期が下半期で他の研修会と重なってしまう事、グループワークで発言をするハードルの高さがある事が要因だと考えられました。 昨年度に引き続き出席させて頂き、全国の訪問リハに従事している方々と課題を共有できて良かったです。その人らしい生活を再構築する為には、在宅医療と介護の連携、共通の目標を持って行う他職種連携が重要だと感じました。訪問理学療法委員会（訪問リハビリテーション委員会）でも、今回の会議で感じた事を啓発する委員会活動や研修会の開催をしていきたいと思います。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		

【 報 告 】

案件番号 2025-10

提出者	市川 普隆、古屋 伴仁	部局名	業務推進局 委託事業部
-----	-------------	-----	-------------

議 題	「令和 7 年度 健康安全運動講座」について		
内 容 および 提出趣旨	上記内容にて ダイハツ工業株式会社より、協力依頼を受け無事終了した。 日 時：甲府店 10 月 7 日（火）9 時～12 時 派遣士会員：甲府店 市川 普隆（白根徳州会病院） 堀内 聖也（赤坂台病院） 深沢 周（フルリーツむかわ） 古屋 伴仁（韮崎市立病院） 参加者：甲府店 8 名 内 容：身体測定（握力測定、片脚立位、5 回立ち上がりテスト） スライド講義 ＊ 富士吉田店 9 月 11 日（木） は、中止 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

【 報 告 】

案件番号 2025-10-22

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	令和 7 年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 第 2 回災害対策支援委員会報告		
内 容 および 提出趣旨	日時：令和 7 年 9 月 18 日（木）19：00～19:45 WEB 開催 参加：PT 士会：井村、大野、萱沼、伊藤 OT 士会：磯野、土橋 ST 士会：赤池（洋）、中嶋、赤池（絢）、渡邊、矢萩 議題： ① 令和 7 年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 災害対策支援委員会研修会 ② 令和 7 年度地震防災訓練 ③ 令和 7 年度山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会 ④ その他 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	・ 令和 7 年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会研修会 令和 7 年 10 月 31 日（金）、山梨県立中央病院多目的ホールにて H U G 研修（避難所運営ゲーム）を開催予定。講師は県の防災危機管理課の池田宏治氏。対象は P T、O T、S T 士会員。 ・ 令和 7 年度山梨県地震防災訓練について 訓練は令和 7 年 11 月 23 日（日）、甲州市立勝沼中学校等で開催予定。第 2 回関係者会議が 10 月 27 日（月）に実施予定。P T 士会大野、O T 士会の磯野先生が参加予定 訓練当日は、例年通り J R A T の広報活動、要配慮者の移動方法の伝達、段ボールベッドや車椅子を使用した移乗動作方法の伝達、リハトリアージを実施する予定です。		

	当日の参加予定者は、PT士会より、井村先生・大野・中山先生・伊藤先生、OT士会より磯野先生・吉田先生となっております。 ・山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会について 令和7年11月6日（木）19:00より文学館で開催。講師は菊池尚久先生で「災害リハビリテーションと地域リハビリテーションのつながり」についてご講演いただく。 ・その他 会議費について、今年度は年3回の委員会、10月31日に行われるHUG研修会運営への参加に対し会議費を支払う。地震防災訓練への参加費は、JRATの補助金事業で交通費等が支出される可能性があるため、本院会の会議費対象外とする。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	
結果	
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）

【 報 告 】

案件番号 2025-10-22

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	1. 令和7年度第3回（32回）山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会報告		
内 容 および 提出趣旨	1. 令和7年度第2回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会 日時：令和7年10月6日（月）19:00～（Web開催） 参加：PT士会 磯野会長、山下事務局長、大野 検討事項：①令和7年度事前防災対策総合推進費（地域 JRAT 養成支援モデル事業） ②令和7年度山梨 JRAT 研修会 ③令和7年度会員継続 ④R-スタッフ、D-スタッフ、L-スタッフ養成研修について ⑤令和7年度山梨県地震防災訓練について その他： 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	① 令和7年度事前防災対策総合推進費（地域 JRAT 養成支援モデル事業） ・本事業は厚生労働省からの依頼に基づく、地域 JRAT 養成支援モデル事業として新たに加わった補助金制度である。山梨県は、協定を締結し活動を行っている先進都道府県として、全国47都道府県のうち10のモデル自治体に選定された。 ・補助金は、災害リハビリテーションに関する協議会の設置や研修・訓練の実施を目的とする。 ・国から都道府県に対する補助率は10/10（全額補助）でありモデル自治体一つあたり約150万円程度と想定されている。補助対象経費は幅広く、報酬、賃金、消耗品費、備品購入費（50万未満）、研修会場費用、講師謝金、委託料などが含まれる。山梨 JRAT では、現時点でビブス50枚、幟旗、パンフレット1000部の購入を、研修用費用などを検討しているが、県担当者とOT 磯野先生が今後再度調整を行う。		

	・事業の実施主体は県であり、ＪＲＡＴが業務を県から委託される形（委託費）を取るか、補助金の対象となる形で進めるかが検討されている。委託の形を取ることで、山梨県が先に経費を立て替えて支払い、ＪＲＡＴ側の一時的な金銭的負担を避けることが可能であると見解が示された。 ・他モデル都道府県（10自治体）がどのような計画を申請しているかについて、足並みを揃えるため、本部ＪＲＡＴを通じて情報収取を行う。 ② 2025 年度山梨ＪＲＡＴ研修会 テーマ：災害リハビリテーションと地域リハビリテーションのつながり 日 時：令和 7 年 11 月 6 日（木）19 時～20 時 30 分（18 時 30 分受付） 講 師：菊池 尚久 先生 会 場：山梨県立文学館 ※研修会案内文はＪＲＡＴ名義で各団体に発出していく。 ③ 2025 年度会員継続：領収書発送済 ④ R-スタッフ、D-スタッフ、L-スタッフ養成研修について R-スタッフ、L-スタッフ養成研修やブラッシュアップ研修、BEHELP 研修等の研修が予定されている。下記の URL から確認できる。 URL： https://sites.google.com/view/jrat-course/JRAT-Course?authuser=0 ⑤ 令和 7 年度山梨県地震防災訓練について 日 時：令和 7 年 11 月 23 日（日）午前 8 時 30 分～正午 会 場：甲州市立勝沼中学校等 活 動：広報活動、段ボールベッドや車いすなど要配慮者への介入方法の伝達 リハトリアージの実施 出 席：PT 士会…井村、大野、中山、伊藤 OT 士会…磯野、吉田 会 議：第 2 回関係者会議 10 月 27 日予定 参加：PT 士会 大野 OT 士会 磯野先生 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	
結果	
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）

【 報 告 】 案件番号 2025-1

提出者	山田 洋二	部局名	がんリハ推進委員会
議 題	【活動報告】 1. 令和 7 年度山梨県がんリハビリテーション推進委員会 2. 令和 7 年度山梨県理学療法士会がんリハビリテーション推進委員会 会議報告 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
内 容 および 提出趣旨	1. 令和 7 年度山梨県がんリハビリテーション推進委員会 開催日時：令和 7 年 9 月 17 日（水）19：00-20：00 Zoom オンライン会議 1) 令和 7 年度 研修事業について ● 開催日時：2026 年 1 月 31 日土曜日（開催形式：対面）		

	● 会 場：小瀬スポーツ公園武道館の会議室（１００名収容） ● 県民公開講座 ・ テーマ：「知ってますか？がんリハビリテーション」 ・ 講 師： 大坪 優太先生（石和共立病院） ● 専門職研修「みんなで学ぼうがんリハビリテーション」 ・ 各領域から実践報告。次の段階へどう繋ぐかを含めて発言をいただく。 ・ 予防的：進藤宏樹 PT（山梨大学医学部附属病院） ・ 回復的：赤池洋 ST（山梨大学医学部附属病院） ・ 維持・緩和的：宮下良美 PT（どちペインクリニック玉穂ふれあい診療） ・ 両立支援コーディネーター：前澤美代子 Ns（山梨県立大学看護学部） ● 関連施設へのチラシ送付、新聞折込チラシでの広報活動を行う ● 参加申込締め切り 1 月 16 日（金）。専門職研修については、各施設で参加集約して申込む形をとる。公開講座は従来通り QR コードにて申し込み受付を行う。 2. 令和 7 年度山梨県理学療法士会がんリハビリテーション推進委員会 開催日時：令和 7 年 9 月 25 日 19：30－20：50 Zoom オンライン会議 1） NPO 法人がんフォーラム山梨主催「山梨がんフォーラム」について（10/6、12/22） 今年度の参加について事務局へ問い合わせているが応答がない状況。12 月の参加を見込んで準備を進める。 2） 第 2 回 山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会について ● テーマ：「リンパ浮腫の理学療法」 講師候補：上田亨先生（リムズ徳島クリニック） 開催時期：2 月後半～3 月上旬の平日夜（オンライン開催） ● 内容： リンパ浮腫治療の理学療法士的視点／日常臨床での見過ごしやすい症例の見分け方／実際の症例に基づいた実践的アプローチ 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	
結果	
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）

第 44 回 関東甲信越ブロック理学療法士学会についての報告

学会準備委員長 小林 司

（令和 7 年 10 月 24 日現在）

1. 学会名：第 44 回関東甲信越ブロック理学療法士学会および 28 回山梨県理学療法士会学術集会
2. テーマ：今いる場所とその先の未来へ～新時代を生きる理学療法～
3. 会 期：2025 年 11 月 15 日（土） ・ 16 日（日）
4. 会 場：アピオ甲府タワー館（〒409-3866 山梨県中巨摩郡昭和町西条 3600）
第 1 会場 慶翔（10F） 第 2 会場 ザ・キャッスル（6F・1/3） 第 3 会場（4F 1/2） 第 4 会場（4F1/2）
ポスター会場 ザ・キャッスル（6F・2/3）
5. 学会長：磯野 賢（甲州リハビリテーション病院）
6. 副学会長：小林 泰彦（白根徳洲会病院）

7. 準備委員長：小林 司（石和温泉病院）
8. 参加人数：1,000 名 予定（日本理学療法士協会会員、理学療法関係者、医療従事者、学生）
9. 主 催：日本理学療法士協会 関東甲信越ブロック協議会
10. 担当：一般社団法人 山梨県理学療法士会
11. 運営事務局：株式会社 学会サービス 担当 原・江頭
12. 予算

収入

	人数・口数	単価（円）	金額（円）
参加人数	1,000 名	8,000	8,000,000
機器展示	9 社	165,000	1,485,000
協賛金	60 口	10,000	600,000
関ブロ協議会	1 口	5,000,000	5,000,000
合同学術	1 口	1,000,000	1,000,000
山梨県士会基金	1 口	7,000,000	7,000,000
合計			23,085,000 円

支出

科目	予算支出	決算支出	内容
会議費	1,800,000		スタッフ謝金等
旅費交通費	700,000	400,000	視察、講師交通費
消耗品費	100,000		事務備品
賃借料	5,500,000	4,500,000	会場費など
印刷製本費	500,000	150,000	名刺、ポスター
渉外費	400,000	200,000	スタンプラリー
諸謝金	400,000	178,000	講師謝金
運営代行費	12,800,000		事務局代行、バス
雑費	50,000		ゴミ回収費
託児所	200,000	200,000	託児所
支払手数料	400,000		源泉徴収、振込手数料
合計	22,850,000 円		

収入合計 23,085,000 円 － 支出合計 22,850,000 円 ＝ △235,000 円

13. 内容

●開会式

11 月 15 日（土）10 時 00 分～10 時 30 分：第 1 会場（10F 慶翔）

1. 開会宣言 第 44 回関東甲信越ブロック理学療法士学会
第 28 回山梨県理学療法士会学術集会 合同学会 準備委員長 小林 司
2. 学会長挨拶 第 44 回関東甲信越ブロック理学療法士学会
第 28 回山梨県理学療法士会学術集会 合同学会 学会長 磯野 賢
3. 協会長挨拶 公益社団法人 日本理学療法士協会 会長 斉藤 秀之
4. 協議会長挨拶 日本理学療法士協会 関東甲信越ブロック協議会 会長 水田 宗達
5. 来賓挨拶 山梨県知事 代理 山梨県福祉保健部 理事 若月 衛 様
6. 来賓挨拶 山梨県リハビリテーション病院・施設協議会 会長 佐藤 吉冲 様
7. 来賓紹介（山梨県作業療法士会会長 三瀬和彦様、山梨県言語聴覚士会会長 赤池洋様）

8. 開会式 終了

●基調講演

11月15日（土）10時30分～11時10分：第1会場（10F 慶翔）

今いる場所とその先の未来へ

講師：磯野 賢（第44回関東甲信越ブロック理学療法士学会/第28回山梨県理学療法士会学術集会 学会長）

司会：内田 賢一（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部）

●特別講演

11月16日（日）13時15分～14時15分：第1会場（10F 慶翔）

理学療法士の過去・現在・未来

講師：斉藤 秀之（日本理学療法士協会会長）

司会：小林 泰彦（白根徳洲会病院リハビリテーション科）

●シンポジウム（第28回山梨県理学療法学術集会合同企画）

11月15日（土）15時45分～17時15分：第1会場（10F 慶翔）

地域リハビリテーションにおける理学療法士の可能性

司会 / 提言：松田 智行（茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科）

山梨県における地域包括ケアシステム構築に向けた地域リハビリテーション支援体制

シンポジスト：秋山 侑大（山梨県庁健康長寿推進課）

病院勤務理学療法士がつなぐ「その人らしい暮らし」と地域のかけ橋

シンポジスト：笠井斗志夫（北杜市立塩川病院リハビリテーション科）

理学療法士の新しい可能性 — 地域リハに広がる“生き方”としての支援

シンポジスト：遊佐 真弓（Planetary Wellness 瑛杜）

●教育講演1

11月15日（土）11時15分～12時15分：第1会場（10F 慶翔）

近年の呼吸理学療法とこれから

講師：山田 洋二（帝京科学大学医療科学部理学療法学科）

司会：原田 智史（石和温泉病院）

●教育講演2

11月15日（土）13時15分～14時15分：第1会場（10F 慶翔）

近年の腰痛理学療法とこれから

講師：成田 崇矢（桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研究科）

司会：森田 伸哉（ふじた整形外科リハビリテーション科）

●教育講演3

11月15日（土）14時30分～15時30分：第1会場（10F 慶翔）

近年の組織内教育・支援とこれから

講師：薄 直宏（東京女子医科大学八千代医療センターリハビリテーション部）

司会：坂本 祐太（健康科学大学健康科学部リハビリテーション学科）

●教育講演4

11月16日（日）10時00分～11時00分：第1会場（10F 慶翔）

近年の運動器理学療法とこれから～過去・現在・未来～

講師：対馬 栄輝（弘前大学大学院保健学研究科）

司会：古屋 伴仁（韮崎市立病院リハビリテーション科）

●教育講演5

11月16日（日）11時15分～12時15分：第1会場（10F 慶翔）

近年の介護予防理学療法とこれから

講師：山田 実（筑波大学人間系）

司会：上田 修（恵信リハビリテーション病院リハビリテーション部）

●教育講演6

11月16日（日）14時30分～15時30分：第1会場（10F 慶翔）

義肢装具の“いま”と“これから”－臨床に生きる知と技術－

講師：豊田 輝（帝京科学大学医療科学部東京理学療法学科）

司会：井村 順治（恵信甲府病院リハビリテーション部）

●教育講演7

11月16日（日）15時45分～16時45分：第1会場（10F 慶翔）

神経理学療法の変遷から読み解く臨床・教育・研究の未来

講師：山口 智史（京都大学大学院医学研究科先端理学療法学講座）

司会：佐藤 大地（山梨リハビリテーション病院リハビリテーション部理学療法課）

14. 口述およびポスター演題数

演題数 308。うち県内は 31 件。

内訳は甲州リハおよびケアホーム 6、湯村 5、甲府城南 3、山リハ 3、一宮温泉 3、

帝京科学大学 2、健康科学大学 2、石和 2

みながわ整形外科クリニック、厚生病院、楽天堂、医大、国立甲府がそれぞれ 1

15. 学会賞選考について

演題表彰規定と表彰演題数について

最優秀賞 1 題、優秀賞 1 題、奨励賞 2 題、若手優秀賞 1 題、若手奨励賞 1 題 の 6 題を想定

表彰演題の採点方法について

座長 1 名に委ねるのではなく、複数名での採点が必要：座長の他にもう 1 名準備する

学会賞選考委員会について

11月15日17時30分より、選考委員会を実施。各賞を決定予定。16日の閉会式で表彰式を行う。

16. 参加申し込み

参加登録者人数(毎週火曜更新)：21名→101名→164名→222名→252名→328名→427名→486名

17. 託児所

ハッピーキッズ en 様に委託して運営 現在 1 名の申し込み

18. シャトルバス

南アルプス交通株式会社様に委託

「甲府駅発—会場行 9：15 から随時、会場発—甲府駅行 随時折り返し」で運行

19. 運営スタッフ

合計 65 名（会員：61 名 学生：4 名） 11/15 56 名 11/16 48 名

T シャツを作成予定

20. スタンプラリー

シャトレーゼの詰め合わせ（4 個）をプレゼント 8 企業中 4 企業を回って景品 GET

21. 組織

	氏 名	所 属
合同大会長	磯野 賢	甲州リハビリテーション病院
副大会長	小林 泰彦	白根徳洲会病院

準備委員長	小林 司	石和温泉病院
事務局長	清水 真治	石和温泉病院
事務総務部長	關野 真士	石和温泉病院
事務財務部長	松島 隼人	石和温泉病院
事務渉外部長	嶋津 栄伸	あけぼの医療福祉センター
事務広報部長	山下 浩樹	甲州リハビリテーション病院
学術局長	菊池 信	山梨リハビリテーション病院
士会学術部長	宮野 将貴	甲府城南病院
会場局長	鈴木 聡	湯村温泉病院
大会賞準備委員長	平賀 篤	帝京科学大学

参考資料



Tシャツのデザイン



お菓子の詰め合わせ